



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 旭硝子株式会社

コード番号 5201 URL <http://www.agc.com>

代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員

(氏名) 石村 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長

(氏名) 上田 敏裕

TEL 03-3218-5603

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	971,882	10.8	52,974	△28.3	48,188	△32.7	15,729	△64.9
24年12月期第3四半期	877,518	△4.2	73,868	△45.8	71,605	△47.5	44,867	△41.0

(注)包括利益 25年12月期第3四半期 126,175百万円 (88.1%) 24年12月期第3四半期 67,065百万円 (224.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	13.61	13.05
24年12月期第3四半期	38.82	35.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	2,043,113	1,091,701	50.6
24年12月期	1,899,373	996,949	49.6

(参考)自己資本 25年12月期第3四半期 1,034,741百万円 24年12月期 941,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	13.00	—	13.00	26.00
25年12月期	—	13.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	5.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,350,000	13.4	70,000	△24.7	65,000	△25.0	10,000	△77.2	8.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期3Q	1,186,705,905 株	24年12月期	1,186,705,905 株	
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	30,919,325 株	24年12月期	31,123,685 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	1,155,705,204 株	24年12月期3Q	1,155,933,658 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績とは異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、補足資料を作成しており、当社ホームページに掲載しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ①2013年12月期第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間(2013年1月1日から2013年9月30日まで)における当社及び関係会社(以下、当社グループという)を取り巻く世界経済を外観すると、欧州の財政・金融問題の影響や新興国の輸出及び内需拡大の鈍化が見られるものの、緩やかな景気回復が続きました。

欧州においては、一部の国の財政危機の影響による高い失業率と個人消費の落ち込みのため、景気は低調に推移しました。アジアにおいては、中国を中心に一部の国で経済成長の鈍化が見られましたが、輸出と個人消費が牽引し、景気は概ね堅調でした。日本においては、輸出の持ち直しと底堅い個人消費により、景気は緩やかに回復しました。アメリカにおいては、住宅着工戸数は低い水準ながらも改善が続き、個人消費も安定的に推移したことから景気は緩やかに回復しました。

このような環境の下、当社グループでは電子関連製品の出荷は増加したものの、製品価格の下落、原材料価格の上昇により、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比944億円(10.8%)増の9,719億円、営業利益は同209億円(28.3%)減の530億円、経常利益は同234億円(32.7%)減の482億円、四半期純利益は同291億円(64.9%)減の157億円となりました。

## ②2013年12月期第3四半期連結累計期間の報告セグメント別の概況

## ○ガラス

建築用ガラスの出荷は、日本・アジアにおいては堅調に推移し、北米では緩やかな回復基調にあります。一方、欧州では引き続き低迷し、価格は第2四半期以降緩やかに改善しているものの前年同期と比べ低い水準となりました。ソーラー用ガラスの出荷は、厳しい競争環境が継続し、前年同期と比べ減少しました。これらの結果、建築用及びソーラー用ガラスを合わせた板ガラスは、厳しい事業環境が続いたものの、円安などの影響で前年同期と比べ増収となりました。

自動車用ガラスは、日本では前年同期と比べ自動車生産台数が減少し、当社の出荷も減少しました。一方、欧州では自動車生産台数は減少したものの、当社の出荷は前年同水準を維持しました。アジア、北米においては出荷が堅調に推移し、また円安の影響もあり前年同期と比べ増収となりました。

以上の結果から、当第3四半期連結累計期間のガラスの売上高は前年同期比716億円(17.1%)増の4,892億円、営業損益は同120億円悪化し126億円の損失となりました。

## ○電子

表示デバイス用ガラス基板やディスプレイ用特殊ガラスの出荷は前年同期と比べ増加しました。

電子部材の出荷はオプトエレクトロニクス用部材、半導体関連製品ともに前年同期と比べ増加しました。

以上の結果から、当第3四半期連結累計期間の電子の売上高は前年同期比97億円(3.9%)増の2,612億円、営業利益は同65億円(10.7%)減の547億円となりました。

## ○化学品

クロールアルカリ・ウレタンは、アジアでの出荷が堅調に推移したことから、前年同期と比べて増収となりました。フッ素・スペシャリティは、欧州景気低迷等の影響を受け一部製品の出荷が低迷したものの、医農薬中間体・原体やフッ素樹脂の出荷が堅調に推移したことから、売上は前年同期と比べ増収となりました。

以上の結果から、当第3四半期連結累計期間の化学品の売上高は前年同期比191億円(10.0%)増の2,107億円、営業利益は同19億円(15.3%)減の107億円となりました。

なお、各報告セグメントに属する主要な製品の種類は以下のとおりです。

報告セグメント	主要製品
ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入り磨板ガラス、Low-E(低放射)ガラス、建築用加工ガラス(断熱・遮熱複層ガラス、安全ガラス、防・耐火ガラス、防犯ガラス等)、自動車用強化ガラス、自動車用合わせガラス、ソーラー用ガラス、産業用加工ガラス、装飾ガラス等
電子	表示デバイス用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス、ディスプレイ用周辺部材、光学薄膜製品、オプトエレクトロニクス用部材、合成石英製品、ガラスフリット・ペースト、半導体製造装置用部材、照明用製品等
化学品	塩化ビニル原料、苛性ソーダ、ウレタン原料、ガス、溶剤、フッ素樹脂、撥水撥油剤、医農薬中間体・原体、ヨウ素製品、電池材料等

上記製品の他、当社は、セラミックス製品、物流・金融サービス等も扱っています。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ○総資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1,437億円増の20,431億円となりました。これは主に、円安により為替換算後の有形固定資産等が増加したことに加え、上場株式の株価上昇に伴い投資有価証券が増加したことによるものです。

## ○負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比490億円増の9,514億円となりました。これは主に、有利子負債が円安の影響も含め増加したことによるものです。

## ○純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比948億円増の10,917億円となりました。これは主に、円安により為替換算調整勘定が増加したことに加え、上場株式の株価上昇に伴いその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

(億円：千万単位四捨五入)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期(2013年12月期)	13,500	700	650	100
前期(2012年12月期)	11,900	929	866	438
増減率(%)	13.4	△24.7	△25.0	△77.2

2013年の世界経済は、全体として緩やかな成長を持続する見込みです。

このような環境のもと、建築用ガラスの出荷は、北米では緩やかに回復し、日本・アジアにおいては堅調に推移する見込みです。欧州では景気低迷を反映して軟調に推移する見込みです。自動車用ガラスは、新興市場を中心に堅調な自動車需要が見込まれることから、出荷は前期と比べ増加する見込みです。ソーラー用ガラスは、厳しい競争環境が継続し、出荷が低調となることが見込まれます。

表示デバイス用ガラス基板の出荷は、成長率は鈍化するものの、通期では堅調に推移することが見込まれます。ディスプレイ用特殊ガラスの出荷は採用の拡大に伴い伸長する見込みです。電子部材の出荷は半導体関連製品、オプトエレクトロニクス用部材ともに回復基調にあり、堅調に推移する見込みです。

化学品関連製品の出荷については、アジアのクロール・アルカリ製品が引き続き伸長し、またフッ素関連製品が回復する見込みです。

なお、エネルギー価格の上昇が当社グループ全体の損益に一定の影響を及ぼす可能性があります。

このような状況を踏まえ、当社グループの2013年通期の売上高は前期比1,600億円(13.4%)増の13,500億円、営業利益は前期比229億円(24.7%)減の700億円、経常利益は前期比216億円(25.0%)減の650億円、当期純利益は前期比338億円(77.2%)減の100億円を予想しています。

なお、通期の平均為替レートは、対米ドル円為替レート100円、対ユーロ円為替レートを130円と想定しています。

## 《見通しに関する留意事項》

前述の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみで全面的に依存して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績は、当社グループの事業領域をとりまく経済環境、市場の動向、為替レートなど様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	100,461	123,593
受取手形及び売掛金	249,572	253,972
有価証券	20,300	300
商品及び製品	92,919	101,327
仕掛品	41,586	48,546
原材料及び貯蔵品	73,841	83,326
その他	77,740	66,918
貸倒引当金	△5,173	△5,423
流動資産合計	651,248	672,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	574,483	609,502
減価償却累計額	△311,609	△332,771
建物及び構築物(純額)	262,873	276,731
機械装置及び運搬具	1,684,007	1,832,136
減価償却累計額	△1,173,317	△1,292,998
機械装置及び運搬具(純額)	510,689	539,137
その他	120,005	128,461
減価償却累計額	△95,471	△102,706
その他(純額)	24,534	25,755
土地	78,231	82,111
建設仮勘定	81,332	104,769
有形固定資産合計	957,661	1,028,504
無形固定資産		
のれん	26,922	27,672
その他	24,986	26,363
無形固定資産合計	51,909	54,035
投資その他の資産		
投資有価証券	195,897	248,802
その他	46,013	42,555
貸倒引当金	△3,357	△3,345
投資その他の資産合計	238,553	288,012
固定資産合計	1,248,124	1,370,552
資産合計	1,899,373	2,043,113

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	118,893	121,564
短期借入金	69,141	86,132
コマーシャル・ペーパー	11,862	12,423
1年内償還予定の社債	20,000	42,637
未払法人税等	15,325	10,493
引当金	13,419	23,408
その他	124,173	108,138
流動負債合計	372,816	404,797
固定負債		
社債	92,294	70,000
新株予約権付社債	50,000	50,000
長期借入金	289,683	308,939
退職給付引当金	59,681	64,997
その他の引当金	9,076	11,158
その他	28,870	41,518
固定負債合計	529,607	546,614
負債合計	902,423	951,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,873	90,873
資本剰余金	96,961	96,961
利益剰余金	826,265	811,918
自己株式	△30,076	△29,868
株主資本合計	984,023	969,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,615	81,501
繰延ヘッジ損益	174	△7
為替換算調整勘定	△90,971	△16,638
その他の包括利益累計額合計	△42,181	64,855
新株予約権	1,862	1,979
少数株主持分	53,243	54,980
純資産合計	996,949	1,091,701
負債純資産合計	1,899,373	2,043,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年9月30日)
売上高	877,518	971,882
売上原価	635,824	737,824
売上総利益	241,694	234,058
販売費及び一般管理費	167,825	181,083
営業利益	73,868	52,974
営業外収益		
受取利息	994	1,118
受取配当金	1,762	2,158
持分法による投資利益	1,130	490
その他	1,204	1,546
営業外収益合計	5,091	5,314
営業外費用		
支払利息	4,541	4,585
為替差損	770	4,449
その他	2,042	1,066
営業外費用合計	7,354	10,100
経常利益	71,605	48,188
特別利益		
固定資産売却益	1,556	624
投資有価証券売却益	—	429
受取保険金	10,651	—
その他	1,090	388
特別利益合計	13,298	1,442
特別損失		
固定資産除却損	5,441	3,392
減損損失	1,213	—
事業構造改善費用	8,363	13,161
その他	3,215	1,397
特別損失合計	18,234	17,950
税金等調整前四半期純利益	66,669	31,680
法人税等	18,752	14,190
少数株主損益調整前四半期純利益	47,916	17,490
少数株主利益	3,049	1,761
四半期純利益	44,867	15,729

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	47,916	17,490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,312	32,902
繰延ヘッジ損益	456	△182
為替換算調整勘定	12,191	73,472
持分法適用会社に対する持分相当額	188	2,491
その他の包括利益合計	19,148	108,684
四半期包括利益	67,065	126,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,619	122,765
少数株主に係る四半期包括利益	2,446	3,409

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2012年1月1日 至 2012年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			セラミックス ・その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス	電子	化学品				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	416,170	250,081	189,265	22,000	877,518	—	877,518
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,473	1,376	2,325	43,105	48,280	(48,280)	—
計	417,644	251,458	191,591	65,105	925,799	(48,280)	877,518
セグメント利益又は 損失(△) (営業利益)	△664	61,193	12,634	853	74,016	(147)	73,868

注 1 「セラミックス・その他」の区分は、報告セグメントに含まれないその他の事業セグメントの合算であり、従前の「その他」の区分名称を変更したものであります。

2 セグメント利益の調整額△147百万円には、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等が含まれております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2013年1月1日 至 2013年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			セラミックス ・その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス	電子	化学品				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	486,521	252,985	208,593	23,781	971,882	—	971,882
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,675	8,207	2,084	33,229	46,196	(46,196)	—
計	489,197	261,193	210,678	57,010	1,018,079	(46,196)	971,882
セグメント利益又は 損失(△) (営業利益)	△12,630	54,666	10,698	564	53,298	(323)	52,974

注 1 「セラミックス・その他」の区分は、報告セグメントに含まれないその他の事業セグメントの合算であり、従前の「その他」の区分名称を変更したものであります。

2 セグメント利益の調整額△323百万円には、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等が含まれております。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。